

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月21日		記入者		連絡先 内線5672
部 名	保健所	課 名	中央保健センター	課長名	鈴木豊子
事務事業名	健康教育事業				
予算上の事務事業名	健康教育事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施策名	第1施策 自ら行う健康づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
老人保健法、相模原市保健事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市保健医療計画		健康日本21との整合性を図り、市民の健康づくりの推進や地域医療の基盤づくりについて策定したものです。		
計画年次	14	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
生活習慣病の予防や介護予防のために、健康意識の向上や具体的な生活改善の実践を支援する。 1. 健康は自ら作るという意識の高揚 2. ライフステージに応じた健康づくりの啓発や情報提供 3. 具体的な健康づくりの行動の実践				市民	
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。 通年、中央保健センターや各公民館などを会場に、講座または各種体験、調理実習などを通して、啓発や知識の普及、具体的な行動の実践支援のための健康教育を行った。 H17年度に実施した健康教育は以下の通り。 1. 個別健康教育 283回実施 2. 集団健康教育 940回実施 3. 介護家族健康教室 5回実施 4. その他の健康教育 18回実施					
6 関連・類似事業や他市の状況					
健康づくりに関する内容は、生涯学習事業でも実施されている。生涯学習事業は啓発や地域での生涯学習の場づくりであり、本事業との内容の重複はない。 他市においても、健康教育実施状況は同様である。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	1,481	1,360	1,370	1,313	1,313
一般財源	605	564	658	499	499
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	876	796	712	814	814
人件費の合計	0	27,861	22,080	16,428	16,482
事業コスト合計	1,481	29,221	23,450	17,741	17,795
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	生活習慣改善教室(わかって得する生活習慣病)			対象名称と単位	市民(人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	136	136	136	157	157
対象数	466	387	332	400	400
単位あたり経費(円)	292	351	410	393	393
前年度比		1.20	1.17	0.96	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数（人）	指標式と指標の説明	教室参加者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	7,199.0	10,990.0	10,006.0		
目標	12,695.0	13,020.0	13,390.0	8,573.0	8,573.0
目標達成度（%）	56.7	84.4	74.7		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者の意識変容率	指標式と指標の説明	意識変容者数/参加者×100%		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	80.0	80.0	80.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	80.0	80.0	80.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		健康意識が薄れる若年層への働きかけを行うことは、健康な生活の維持と生活習慣病の習慣固定防止の効果的な時期ではある。更に、介護予防や、将来の介護保険対象者の減少にもつながるため、関心を喚起する働きかけが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
地域情報紙や広報誌を有効に活用し広く対象者に呼びかけるのは今後も継続していく。二次予防については対象者の選定方法を検討していく。また若い時からの生活習慣を改善することが生活習慣病の予防につながることから、職域との連携についても検討していく。			・30.40歳代の参加者数が少ないこと ・対象者である生活習慣病予備軍者を確実に抽出し参加を促すこと。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			